

6月は「就職差別撤廃月間」です 《しないさせない就職差別》 ～働くのは私！ 私自身を見てください～

就職の面接で、こんなことを聞いた、あるいは聞かれたことはありませんか。

『あなたのお父さんやお母さんの出身地はどこですか。家族の職業を言ってください。』

『あなたの住んでいる地域は、どんな環境ですか。』

『お父さん（お母さん）がいないようですが、どうされたのですか。』

『尊敬する人物を言ってください。』

『結婚、出産しても働き続けられますか。（女性に対して）』

本人や家族の出身地や職業などが、面接を受ける人の就職に関係あるのでしょうか。

また、思想・信条などは憲法で保障されている個人の自由権に属することです。

就職の面接でこのような質問をすることは、本人の責任のない事項や本来自由であるべき事項で応募者を判断することになり、就職差別につながるおそれがあります。

採用選考では、次の2点を基本的な考え方として実施することが大切です。

- ・「人を人としてみる」人間尊重の精神、すなわち応募者の基本的人権を尊重する。

- ・応募者のもつ適性・能力を基準とし、その人の資質や長所を見いだすことを通じて行う。

また、個人情報保護の観点から、応募者より提出された履歴書などの取り扱いに当たっては、個人の権利利益を侵害しないようにしなければなりません。

大阪府では、これまでも就職差別の撤廃に取り組んでまいりましたが、就職差別につながる問題事象が、高校生や大学生、また一般求職者から今なお、少なからず報告されています。

大阪府では、この6月を「就職差別撤廃月間」とし、ハローワークや市町村、大阪企業人権協議会などの関係機関と連携して、様々な啓発事業を実施します。応募者の基本的人権を尊重し、就職の機会均等を保障することの大切さについて、府民・事業者の皆さんのご理解をお願いいたします。

【月間中の主な取り組み】

☆相談対応

- ・大阪府及び大阪労働局（ハローワーク）において、公正採用選考に関する相談を実施。相談窓口はこちら



☆啓発事業

- ・関係団体並びに市町村等の関係機関の広報により啓発を周知
- ・主として求職者を対象とした啓発リーフレットの配付
- ・鉄道各社による大阪府内主要駅構内の放送
- ・関係団体並びに市町村等の関係機関による駅前等で啓発グッズの配布

[問い合わせ先] 大阪府商工労働部雇用推進室 06-6210-9518